

目 次

本 編

第1章 環境基本計画の体系と目標達成状況の概要

■ 川崎市における環境施策のあゆみ	1
■ 環境基本計画のめざす環境像	3
■ 重点分野ごとの体系	4
■ 重点目標と達成状況(概要)	6
■ 環境政策ごとの体系	8
■ 環境政策ごとの達成状況と総合的な評価	12

第2章 重点分野の目標の達成状況と施策の実施状況

■ 地球温暖化・エネルギー対策の推進 ～地球温暖化対策の総合的かつ計画的な取組の推進～	17
■ 一般廃棄物対策の推進 ～3R(リデュース[発生・排出抑制]・リユース[再使用]・リサイクル[再生利用])の推進～	21
■ 緑の保全・創出・育成 ～①緑地の保全②農地の保全③公園緑地の整備④協働による緑の保全 ・創出・育成の取組～	24
■ 大気環境対策の推進 ～二酸化窒素、光化学オキシダント、微小粒子状物質(PM2.5)など、 大気環境対策の総合的取組の推進～	28
■ 化学物質対策の推進 ～環境リスクの効果的な削減を目指した化学物質の排出量の削減～	32
■ 環境に配慮した産業の振興と国際貢献の推進 ～環境関連産業の振興・育成と環境技術による国際貢献の推進～	35
■ 環境教育・環境学習の推進 ～総合的な環境教育・環境学習の推進～	37
■ 環境パートナーシップの推進 ～環境パートナーシップの推進による地域の環境保全活動の促進と 地域コミュニティの活性化～	41

第3章 環境政策ごとの目標の達成状況と具体的施策の概要

I 地域から地球環境の保全に取り組むまちをめざす <地球環境(温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、森林)、エネルギー、都市気温>	44
I-1 温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策の推進	45
I-2 地域のエネルギー資源の有効かつ効率的な利用の促進	49
I-3 ヒートアイランド対策の推進	51
I-4 その他の地球環境保全	53
II 環境にやさしい循環型社会が営まれるまちをめざす <資源・廃棄物>	55
II-1 一般廃棄物対策の推進	55
II-2 産業廃棄物対策等の推進	58
III 多様な緑と水がつながり、快適な生活空間が広がるまちをめざす <緑(樹林地、農地、緑化地、公園緑地、その他の緑地)、水量・涵養、水辺、生物 (植物・動物)、都市アメニティ(都市景観、利用者に優しい公共施設、歴史的文化 的遺産、オープンスペース、レクリエーション施設)>	59
III-1 緑の保全・創出・育成	61
III-2 健全な水循環の確保	64

III—3 生物多様性の保全	6 8
III—4 都市アメニティの増進	7 0
IV 安心して健康に暮らせるまちをめざす	7 4
<大気、水、土（土壤、地盤、地形・地質）、化学物質、騒音・振動、悪臭、建造物 影響（電波、ビル風、日照、光害）>	
IV—1 大気環境の保全	7 6
IV—2 水質・土壤・地盤環境の保全	8 3
IV—3 化学物質の環境リスクの低減	8 9
IV—4 地域の生活環境の保全	9 3
V 環境に配慮した産業の活気があふれ、国際貢献するまちをめざす	9 6
V—1 環境関連産業の振興・育成	9 6
V—2 環境技術による国際貢献の推進	9 7
VI 多様な主体や世代が協働して環境保全に取り組むまちをめざす	9 9
VI—1 環境教育・環境学習の推進	9 9
VI—2 環境パートナーシップの推進	1 0 2
VI—3 市の環境配慮の推進	1 0 3
具体的施策の概要	1 0 4

第4章 環境配慮指針の実施状況

■ 地域別環境配慮指針	1 4 8
■ 主体別環境配慮指針	1 4 9
■ 事業別環境配慮指針	1 5 5

第5章 基本計画の総合的推進施策

■ 分野別計画との連携	1 5 6
■ 環境調査制度の推進	1 5 6
■ 環境影響評価制度の推進	1 5 7
■ 環境情報の収集及び提供	1 5 7
■ 環境科学に関する調査研究	1 5 8
■ 経済的手法の活用	1 5 9
■ 財源の確保	1 6 0

第6章 2014年度版環境基本計画年次報告書に対する市民意見とその対応措置

参考資料 東日本大震災に関連する取組	1 6 9
環境基本計画年次報告書の見直しについて	1 7 3

資料編

川崎市に適用されている環境基準等	1 8 1
用語索引	1 8 6

※本文中の「具体的施策事業の概要」の中にある担当局の略称の意味は次のとおりです。

総：総務局、総企：総合企画局、財：財政局、市：市民・こども局、こ：市民・こども局こども本部、経：経済労働局、健：健康福祉局、環：環境局、ま：まちづくり局、建緑：建設緑政局、港：港湾局、上下：上下水道局、交：交通局、病：病院局、消：消防局、教：教育委員会